

さらに、出生数の減少も歯止めがかからず、8年連続で過去最少を記録するなど、人口減少のスピードが増している感じがございます。

こうした背景を踏まえ、現在、国では新年度予算について審議がなされています。政府案では、異次元の少子化対策や生活支援への施策などが予定されていますが、本町におきましても、国の施策に応じた自治体としての対応はもちろんのこと、町民の皆さんが安心して安全に生活していただけるよう、きめ細かな施策・事業に取り組んでまいり所存でございます。

愛知県が進めております基幹的広域防災拠点の整備に、町として積極的に関与・連携してまいりますとともに、防災を始め、子育て支援、DXの活用、カーボンニュートラルの推進、将来の人口減少を見据えたまちづくりなど、町が抱える課題にしっかりと向き合い、その解決に向

け、着実に各種事業を実施してまいります。

ノルウエーの劇作家ヘンリック・イブセンの作品の中に、こんな言葉があります。「社会は一つの船のようなものだ。だれもが舵をとる準備をせねばならない。」

町民の皆さんが誇りを持てる町へ、そのためには町民一人ひとりが町の将来に関心を寄せ、一緒になって豊山町を魅力的なまちにしていけること。ひいては、豊山町というまちの価値を高めていくこと。そんなまちづくりを町民の皆さんと一緒に取り組んでまいりたいと存じます。

それでは、具体的に取り組んでまいります各種事業について、7つの視点に沿って述べさせていただきます。

1 災害に強いまち

先ほど申し上げました元日の能登半島地震では、建物の倒壊による人的被害だけでなく、一

部の地域では住宅密集地での火災被害が生じたことも記憶に新しいところですが、また、上下水道や電気などインフラ設備の復旧に時間を要することや避難所機能のあり方など、多くの課題が浮き彫りになりました。今後は、こうした事案が本町でも発生しうることを想定し、必要な措置を講じていくことが重要であると考えています。

現在、愛知県が進めております基幹的広域防災拠点の整備に合わせ、昨年度に引き続き、避難所や賑わい施設を含む臨空第2公園の用地取得を進めるとともに、造成工事や基本計画の策定などを進めてまいります。また、臨空第2公園整備エリアの埋蔵文化財の有無を確認するための試掘調査を実施するほか、周辺道路の拡幅整備や下水道工事に合わせて側溝改良工事を実施し、安心・安全な生活道路の整備を進めてまいります。

本町におきましても、一部地

域では木造住宅が密集しており、南海トラフ地震による火災被害が懸念されることから、地震発生時の電気火災の危険性を減らすため、電気を自動で遮断する感震ブレーカーの購入に対する補助を行います。

また、災害時の生活用水を確保するため、豊山中学校に続き、豊山小学校に防災井戸を設置するなど、災害時に備えた避難所機能の強化を図ってまいります。

名古屋市と共同で進めております久田良木川排水機場の増強工事と境川の改修についても引き続き実施し、多発する集中豪雨や都市化の進展に伴う浸水リスクの軽減を図ってまいります。

2 子育てに優しいまち

全国的な少子化が進む中、子どもを安心して産み、育てる環境づくりを行うだけでなく、物価高騰の影響を受けている子育て世帯への経済的負担を軽減することも必要であります。